
氷帝学園

楓 紅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

氷帝学園

【Nコード】

N2115G

【作者名】

楓 紅

【あらすじ】

氷帝にお使いにやってきた飛鳥。新たな事件の幕開けとなった。氷帝学園にいったい何が、起こるのか……。

しばらく、日が経った頃だった。

スマレ「望月。ちょっと、良いかい？」

「?何ですか?スマレちゃん。」

スマレ「氷帝学園にこの書類を届けてくれないか？」

「氷帝？」

スマレ「ああ。悪いんだが、今日中に届けたいんだ。良いかい？」

「・・・構いませんよ。」

スマレ「氷帝の地図なんだが・・・。」

「大丈夫です。俺、氷帝を知ってますから。」

スマレ「そうかい?それじゃ、頼んだよ。」

こうして、飛鳥は、氷帝にお使いに出かけたのであった。

これが、新たな事件の鍵に繋がるとは気づかないまま・・・。

そして、飛鳥は、氷帝学園に到着した。

「何回、見ても大きな学校だな。」

氷帝学園を眺めながら、歩みを進めていく。

男子生徒「おい。あれ、他校の生徒じゃないか？」

男子生徒「本当だ。おい。穴戸。あの制服は、青学じゃないか？」

穴戸「本当だ。俺、何の用事が聞いてくるから、先に行ってる。」

男子生徒「わかった。穴戸。部活がんばれよ？」

穴戸「おう。そこのお前。」

「広いなー。」

穴戸「・・・お前の事だよ・他校生。」

「え？」

飛鳥は、穴戸の方を振り返った。

穴戸「?!//」

「?俺に何か用ですか？」

穴戸「・・・お前、男か？」

「はい。あ。テニスコートはどこにありますか？」

穴戸「テニスコート?それなら、俺もこれから、行くんだ。付いて

来いよ。」

「ありがとうございます。」

こうして、穴戸の後について歩く飛鳥。

そして、飛鳥達の目の前にテニスコートが見えてきた。

「そういえば、自己紹介をしていませんでしたね。青春学園、1年の望月飛鳥といます。」

穴戸「俺の名前は、穴戸亮だ。テニス部員だ。」

「え？そうなんですか？それでは、榊監督をご存知で？」

穴戸「ああ。俺たちの顧問だ。もしかして、監督に用事か？」

「はい。俺は、青学のマネージャーをしてるんですが、そのお使いに来ました。」

穴戸「お前みたいなのは、会わないほうが良いんだけどな……」

「え？」

穴戸「なんでもねえよ。会わせてやるが、用が済んだら帰れ。変な事に巻き込まれる前によ？」

「はあ。」

こうして、飛鳥は、氷帝の中に入っていく。

宍戸「監督。客ですよ。」

榊「宍戸。遅刻だぞ。罰として、10周、行ってよし！」

宍戸「俺は、こいつを案内してただけなんですか？」

榊「問答無用。20周に。」

「あの。割り込んですみませんが……。」

榊「？何だね？」

「彼、宍戸さんは、俺をここまで案内してくれた、恩人です。彼を攻めるのは、お門違いも良い所です。罰則なら、俺が受けます。」

宍戸「?!お前は、黙ってる!;」

榊「……君が、私に用事なのか？」

「そうです。もしよろしければ、お時間をいただけますか？」

榊「……宍戸、部活に戻れ。」

宍戸「っ;わかりました;」

宍戸は、後ろめたさを残し立ち去っていった。

榊「……来たまえ。向こうで話を聞こう。」

「……。」

景吾「……おい。穴戸。あいつは何者だ？」

榊と共に、部室へと消える飛鳥を見やり問いかける跡部。

穴戸「青学の1年。望月飛鳥って名前で、警戒心も欠片もない、馬鹿だ。」

景吾「なるほどな。榊監督も好きだな。」

こうして、氷帝学園の、事件が幕を切って下ろされる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2115g/>

氷帝学園

2010年10月12日20時16分発行